

令和 8 年度日本大学理工学部海洋建築工学科 総合型選抜
 <<事前課題と当日の発表>>

以下の「事前課題」、「事前課題の提出方法」、「総合型選抜試験当日の事前課題の発表方法と発表資料」に関する説明をよく読み、必ず動画「総合型選抜 受験相談会」(YouTube 限定公開)を見てから答案作成作業をしてください。

● 事前課題

課題テーマ：『水辺にある〇〇記念館』

日本では近年、気候の良い春と秋の季節はだんだん短くなり、酷暑の夏と厳冬の二季しかなく、旅行したいと思っても、なかなか思うようになりません。そんなときには、どんな気候でも楽しめる博物館巡りはいかがでしょうか？

そこで今回の課題テーマは、『水辺にある〇〇記念館』とします。天気や気候に関係なく、室内で楽しむことの出来る記念館をデザインしてください。この記念館では、あなたが住んでいる地域にゆかりのある人物の作品を展示の対象とします。地域にゆかりのある人物とは、「出身地」「過去に居住していた」「創作した作品」など、あなたの住んでいる地域と何らかの関りがある人物とします。そして記念館とは、その人物の作品を展示する博物館や美術館のような建物と捉えてください。

また、この記念館は海や川の近くに配置してください。そして、水辺の環境を活かした空間の演出も行なってください。建物の外形寸法は、縦 6m、横 6m、高さ 6mまでとします。建物の階数、展示空間の数、また建物内外の材質は自由です。

『水辺にある〇〇記念館』を提案するにあたり、考慮すべき 3 つの特徴を以下に記します。これらに従って独自の工夫をしてください。

「特徴 1：地域にゆかりのある人物または作品」

「地域にゆかりのある人物」とは、あなたが住んでいる地域にゆかりのある、実在する(した)人物とします。この人物は歴史上の偉人はもちろん、何らかのメディア(書物、テレビ、新聞など)に取り上げられたことのある人物であれば結構です。また「作品」とは、地域にゆかりのある人物が制作した作品(小説、絵画、彫刻、映像、漫画、手記...など)を指します。または、その人物がその地で行った行為や伝承を記した書物などを「作品」としても結構です。

「特徴 2：“水辺にある”とは」

ここで言う「水辺」とは、「海や湖、川などに隣接している」ことを意味していますが、水面上は含まれません。本課題は、水辺に置くことで「地域にゆかりのある人物または作品」をより効果的に演出する記念館であり、置かれている場所の特徴が重要です。

「特徴 3：展示空間の工夫」

「地域にゆかりのある人物または作品」を特徴付けるように、建築の工夫をしてください。外部では、記念館と水辺との位置関係を考えてください。例えば朝日や夕日、星空など、特徴的な風景の見える方向などとの関係を考慮して記念館を配置することです。内部では、展示の効果を高めるような家具の設置や床、壁、天井、窓の大きさや開口方向、形などを考えてください。例えば水辺を眺める、水の流れや波の音を聴く、水面の反射光を室内に導くなどです。

上記の 3 つの特徴を満足する『水辺にある〇〇記念館』を提案し、課題①と課題②に解答してください。建築の専門的知識(構造、法規等)や、既存の施設にとらわれず、自由な発想、提案を期待します。
 (次頁へつづく)

課題①

解答用紙 A (1枚) に、次の (1) ~ (2) について記述してください。

- (1) 「地域にゆかりのある人物または作品」について自身が選定した理由
- (2) 計画する場所の都道府県・市区町村名、および地名とその敷地の特徴と選定した理由

解答用紙 B (1枚) に、『水辺にある〇〇記念館』を計画する敷地に自身が訪れて撮影した写真 2 枚 (サイズは自由) を貼り付け、それぞれの写真について説明を記述してください。実際に現地を訪れる際は安全に十分注意してください。

課題②

解答用紙 C (1枚) に、次の (3) ~ (5) について記述してください。

- (3) 『水辺にある〇〇記念館』と周辺環境との関係性 (計画した場所にふさわしいか)
- (4) 『水辺にある〇〇記念館』の空間的特徴 (工夫した点)
- (5) 『水辺にある〇〇記念館』を通じて、あなたが考えたこと、伝えたいことなど

解答用紙 D (1枚) に、あなたが提案する『水辺にある〇〇記念館』と水辺との関係が分かる外部のイメージ図、および、作品等を展示する内部のイメージ図を描画し、それぞれの図に対して主な特徴を 60 文字程度で記述してください。また、図・文字はパソコンやプリンターを用いず、必ず志願者本人が手描きしてください。描画の際には、定規・コンパス等を使用してもかまいません。なお、彩色方法は自由ですが、鉛筆の細い線、薄い着色 (色鉛筆) 等はカラーコピーでは複写されにくいいため、推奨しません。

● **事前課題の提出方法**

- 1) 事前課題は、上記を解答用紙 (A~D) の 4 枚に納めてください。解答用紙は A~D までを 1 つに束ね、左上 1 カ所をクリップ止めにして提出してください。なお、事前課題は提出前に必ずコピーをとり各自で保管してください。
- 2) 提出期限は、《志願者の皆さんへ》(郵送資料①) を参照してください。
- 3) 事前課題の郵送は、同封したレターパックプラスを使ってください。郵送方法は同封の「課題 (レターパックプラス) の返送方法」(郵送資料④) の指示に従ってください。

● **発表資料の作成、および、総合型選抜試験当日の事前課題の発表方法**

上記の「事前課題」をもとに、試験当日までに「**発表資料**」(A2判1枚)を作成してください。これをもとにプレゼンテーションしていただきます。プレゼンテーションの内容と方法は以下の通りです。

- 1) 発表資料は以下の要領で作成し、試験当日に持参してください。この資料はプレゼンテーション終了後に提出していただきます (返却しません)。
 - ・ A2判 (420mm×594mm) のケント紙 1 枚を、縦使いとします。用紙の表面右下に、受験番号と氏名を記載してください。なお、パネル加工はせず、筒状に丸めて持参してください。
 - ・ 図・文字はパソコンやプリンターを用いず、必ず志願者本人が手描きしてください。また、描画の際には、定規・コンパス等を使用してもかまいません。彩色は自由です。
 - ・ 課題①および課題②で取り組んだ内容を踏まえて、自身が提案する『水辺にある〇〇記念館』について、発表用の資料として作成してください。
 - ・ 表現方法は自由です。説明文のほかに、スケッチや写真、図、表を使用するなど各自で工夫してください。印刷した写真の貼付は可とします。
 - ・ 説明文は要点が分かるように記述し、文字の大きさは、約 1m離れた所からでも見えるよう 1cm×1cm 程度以上を目安としてください。
- 2) プレゼンテーションの発表時間は 5 分間です。その後、口頭試問を行います。
- 3) プレゼンテーションの発表時にメモや原稿を参照および読み上げることはできません。また、指し棒は使用できません。

以上